

あぶくろーち

<http://u-40.seesaa.net/>



第74号

平成23年10月1日
発行責任者
綾瀬市商工会青年部
長 笠間功治
《《情報委員会》》
委員長 増尾玄太郎

東日本超復活祭

8月27日(土)の正午より、綾瀬市役所南側広場において、「東日本超復活祭～花火の代わりに夏祭りやっちゃいます！～」が開催されました。

例年であれば、綾瀬市商工会青年部花火大会が開催される日取りですが、3月11日に発生した東日本大震災の影響を受けて花火が中止となった為、「花火が上げられないならば、せめて震災により経済的大打撃を受けた東北6県や市内商工業者に対して、復興支援活動を行えないだろうか？」という想いで、大久保実行委員長をはじめとする実行委員会が中心となって企画・開催された復興支援イベントです。

これまでのノウハウが蓄積された城山桜まつりや花火大会とは違い、今回は催物の選定やステージ・会場の設営など、全てゼロから企画しなくてはなりません。開催までの準備期間中は、幾度となく難題にぶつかりながらも、なんとか乗り越え、無事、当日を迎える事が出来ました。

正午より開始されたお祭りは、村上副部長の司会進行の元、大久保実行委員長の開会の挨拶を経て、商工会女



性部のすまいる舞綾、並びに、海老名市よりお越し頂いた、美na舞ty！によるパワフルなよさこいのオープニングセレモニーで幕を開けました。

ステージでは、青年部を代表して笠間部長の挨拶があり、また、ご多忙の中、足を運んで頂いた来賓の皆様からもご挨拶を頂戴しました。

その後、アヤセフラ同好会によるフラダンスショーが行われました。低めに設置されたステージの背後には、ステージトラックが配備され、トラックの上ではバンドによる生演奏が行われました。

～花火の代わりに夏祭りやっちゃいます！～開催

会場となる市役所南側広場では様々な出店ブースが軒を連ねました。ここでその一部を紹介させて頂きます。

まず、今回の東日本超復活祭でのメイン出店となる東北県人会連合会による東北物産展では、東北6県のご当地ならではの商品がズラリと並び、開会早々から大賑わいとなっていました。



また、震災直後の未曾有のガソリンの供給不足により、ガソリンで走る車に危機感を覚えた人も少なくないのではないでしょうか。会場内では、100%電気で走る電気自動車の試乗会が行われ、ガソリンの供給不足に悩まされたであろう人々の興味を引いていました。

今年の夏、“不足”と言うキーワードで連想されるのは、恐らく“電気”でしょう。計画停電により、電気の無い生活の不便さを痛感させられた事かと思います。恐らく今年ほど、日本国内で節電に対する意識の高まった夏は無いでしょう。そんな電力不足の助けになる、太陽光発電システムの展示が会場内で行われました。実生活に密着した事柄からか、やはり、興味を持つ人は少なくなく、ソーラーパネルを前に出展者に問い合わせをする光景などを何度も目にしました。

東日本超復活祭も1時間を残すところで、ステージ上ではハラウ・カロケ・メレメレ・オカヒキナによる、タヒチアンダンスが行われ、最後の盛り上がりを見せます。

全てのステージイベントが終了し、笠間部長による挨拶で幕を降ろすかと思われた、その時。会場の西の空に花火が上がりました。数は少なく、サイズもとても小さい花火でしたが、青年部員たちの来年の花火大会開催にかける意気込みを形にしたサプライズ花火です。打上げた花火を見上げた青年部員たちは、来年の花火大会開催を心に誓い、東日本超復活祭は幕を降ろしました。

笠間部長挨拶

「東日本超復活祭」の開催に際しまして、多くの皆様にご支援、ご協力を頂き、盛況にて無事終了することができました。この場を借りて深く感謝申し上げます。

私どもが毎年開催させて頂いている夏の花火大会を、本年は震災の影響を考慮し残念ながら中止とさせて頂きました。しかし、黙ってこの夏を終わらせる訳にはいきません。今、自分たちに出来ることは何か？部内で議論を重ね、ゼロから企画を創り上げました。

先の大震災発生から半年余り。復興支援の形が、義援金を募り被災地へ贈る段階から、被災地の自立復興をサポートする段階に進む中、お祭りの中心に東北物産展を据え、夏の楽しいひと時を過ごして頂けるように、盛りだくさんな企画を数々取り入れました。

実行予算がほとんど無い状況ではありましたが、綾瀬市からは多大なるご支援を頂き、また商工会役員をはじめ多くの皆様よりご協賛を頂きました。重ねて感謝申し上げます。

この「東日本超復活祭」を通じて、綾瀬市民の被災地に対する自立復興支援への機運が一歩も二歩も高まったのではないかと感じております。

しかし、完全復興へはまだまだ長い道のりです。今後も若者らしく、自由な発想と行動力を發揮して、部員一同ガンガンと前進してゆきたいと思います。

今後も商工会青年部に対しまして、ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

大久保実行委員長挨拶

この度は、『東日本超復活祭』を大成功の内に無事終了することが出来ました。

従来型の義援金イベントから脱却し「被災地を含む東日本の経済を復活させるきっかけになる」という、一步進んだ形での東日本の復興の一助とするべく企画した『東日本超復活祭』。その趣旨をご理解頂き、ブース出店して頂いた会員の方々、ご協賛を申し出て下さった個人、企業の方々、準備から当日の運営まで気にしてお声かけ下さった方々、その他有形無形、様々な形でご協力を頂きました事、厚く御礼申し上げます。

祭りの最後に、東日本の復活の狼煙であると共に、先の震災で被災し命を落とされた方々への鎮魂の祈りを込めて、夕方にサプライズで打ち上げた花火数発。これを見た東北県人会の方々が感激され、中には涙を流してお札を言ってくれた方がいました。

「やってよかった」いきいき祭りが中止となり、花火大会をやむなく中止にしてしまったことで、何もなくなってしまった綾瀬の夏に、地元の青年団体としての使命と責任を果たせたと感じた瞬間でした。重ね重ね、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

「東日本超復活祭～花火の代わりに夏祭りやっちゃいます！～」の開催に際し、ご協力頂きました皆様を、この場をお借りし、ご紹介させて頂きます。

ご協賛、ご協力ありがとうございました。

(順不同敬称略)

●後援

・綾瀬市　・綾瀬市商工会

●協賛者様

- ・ 斎藤樹脂工業(株)
- ・ (株)川崎製作所
- ・ 武田商事(株)
- ・ 大和熱処理(株)
- ・ (有)加藤自動車
- ・ (株)小林建業
- ・ フラワーショップ花英
- ・ (株)エタカトラベル
- ・ (有)平本建築
- ・ (有)増田石油
- ・ (株)リミテッド・ネットワークシステム
- ・ (有)オフィス柏木
- ・ (資)中野鐵工所
- ・ (株)石材センター綾瀬
- ・ (有)藤正工務店
- ・ (有)峰建設
- ・ (株)ワメイ
- ・ マイセット(株)
- ・ 片寄正己
- ・ 県央イベント商業共同組合
- ・ (有)大久保製作所
- ・ アヤセカタノ(株)
- ・ 藤伸開発(有)
- ・ (有)庄内工業
- ・ チヨダ(有)
- ・ (株)コモン不動産研究所
- ・ レストラン綾瀬
- ・ (株)タズミ
- ・ 溝口工業(株)
- ・ 綾北ランドリー
- ・ 望月澄江住宅(株)
- ・ 片岡明会計事務所
- ・ 綾瀬美容師会
- ・ 協進設備(株)
- ・ (有)青柳商店
- ・ 綾北商店会
- ・ シスター美容室
- ・ (株)ナウ産業
- ・ 藤田そろばん教室
- ・ (株)産建

●ステージ設営のウイングトラックを無償にてお貸し頂きました。

・ (株)サンコー神奈川

●物品協賛

- ・ 大塚製薬(株)
- ・ ダイドードリンコ(株)

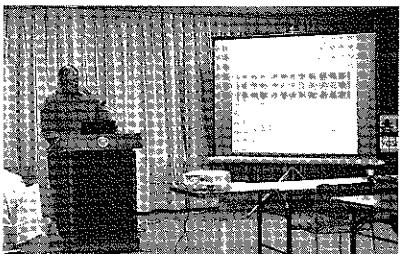
その他、お祭り運営に際し、ご賛同頂き、ご協力頂きました参加団体の皆様におかれましては、この場をお借りし、厚く御礼申し上げます。

研修事業

「俺の会社を見てくれ～④」開催

7月27日(水)、綾瀬市商工会館にて、研修事業「俺の会社を見てくれ～④」が開催されました。

今回は、運転代行AYASE(株たくま企画)遠藤呈君、(有)矢部商店の矢部貴洋君、(有)デイリー笠間の笠間健一君の3名が発表を行いました。



近年始まった新しい業種として、内容を詳しく発表してくれました。質疑応答では、シフト管理、社内教育の話など、他の青年部員にも共通する意見交換が行われました。従業員40名を抱えるまでになったのは、お客様のおかげであるとサービス業における感謝の気持ちを前面に出した素晴らしい発表でした。



続いての発表は、矢部貴洋君です。矢部君は、酒食品販売業を営んでいます。

家族経営での各業務分担、取扱商品の説明など、写真を交え詳しく説明してくれました。

特に、契約米農家から仕入れた玄米の小売販売、「清酒あやせ」の宣伝など、商売人として余念の無い、素晴らしい発表でした。

質疑応答では、お酒好きな部員からお酒に関する質問や、部員から色々なアイデアが出され、大変参考になったようです。



この日最後の発表は、笠間健一君です。笠間君は、寺尾釜田においてコンビニエンスストアを経営しています。お客様目線での経営方針、意外に知られていない

コンビニエンスストアの多くのサービスなど、細かく説明してくれました。質疑応答では、色々な意見、質問が出ましたが、「コンビニあるある」大会に発展し、大爆笑の中で発表が終わりました。

今回の研修事業は、商業という括りでの発表となりましたが、どんな商売もお客様目線に立った経営、そして、感謝の気持ちを忘れてはいけないと再認識させられる素晴らしい研修事業でした。

発表者の皆さん、大変お疲れ様でした。

第25回主張大会・県央ブロック予選会

6月20日(月)、座間市商工会館において「第25回主張大会・県央ブロック予選会」が開催されました。

今年度は、愛甲1名、寒川1名、座間1名、綾瀬より笠間健一君、崎永政人君の2名が出場しました。

なんと！優勝 崎永政人君、準優勝 笠間健一君と綾瀬のワンツーフィニッシュとなりました！

そして、綾瀬の2名は、主張大会県大会へと駒を進めます。

第25回主張大会・県大会

7月7日(木)、ワーカピア横浜において、「第25回主張大会・県大会」が開催されました。

前出の通り、県央ブロック大会において、1位2位で通過を果たした笠間健一君、崎永政人君の2名が出場しました。

笠間君の主張内容は、研修事業を通して得たことを、
長岡市青年部員研修会主張大会・研修会



そうという展望を主張しました。

笠間君は、残念ながら入賞とはなりませんでしたが、崎永君は見事、3位入賞となりました。両者とも、綾瀬市商工会青年部の名に恥じない立派な主張を行いました。

上云青年部員研修会主張大会・研修会



平成23年度商工会青年部員研修会 第25回主張大会・研修会



笠間健一君、崎永政人君、大変お疲れ様でした！

綾瀬市商工会青年部登山隊 富士山日帰り登頂！

7月某日、青年部有志と事務局の4人で、富士山に登ってきました。朝4時に綾瀬を出発し、標高2,400mの富士宮口5合目へ。ここから富士山頂を目指します。

日帰りなので、高度に身体を慣らす為、8合目と9合目で休憩を取りつつ、お昼過ぎに山頂稜線に到着。もうひと踏ん張りして、日本最高所富士山剣が峰3,776mに到達！



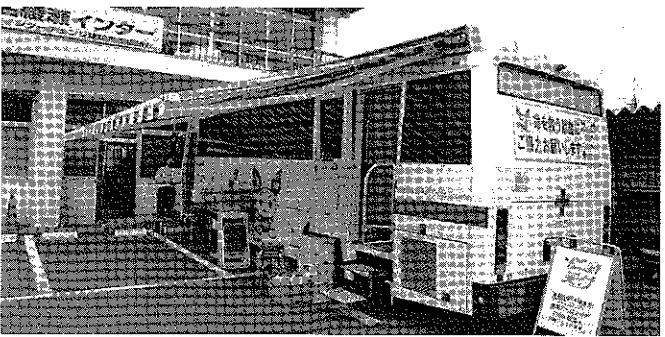
日本最高地点の眺望を楽しんだ後、すぐに下山です。ヘロヘロになりながらも夕方には無事に5合目に到着し、山頂を振り返りながら4人で握手を交わしました。足元には、美しい雲海が広がっていました。

当日の詳細な写真は、青年部ブログ7月22日の記事でアップされていますので、是非ご覧下さい！

青年部登山隊では第2弾の登山計画が進行中。基本的に日帰りですが、もし山に登ってみたい！という方がいればぜひひご一緒しませんか？

献血運動

平成23年6月16日(木)、綾瀬市商工会館において、献血運動が行なわれました。



綾瀬市商工会青年部では、病気や怪我などで輸血を必要としている人が少しでも救われる為に、毎年、献血運動を行なっています。

今年は、受付数24名の内、採血可能と判断された19名の方に400mlの献血にご協力を頂きました。お越し頂いた皆様、ありがとうございました。

ご結婚おめでとう！

研修委員会 遠山美繼君が結婚しました！
末永くお幸せに！！



青年部員 遠山 美繼
妻 真友子
(まゆこ)

結婚記念日

2011年2月2日

本人より一言

さあ、みんなも「うっかり婚」しちゃうねっ！

青年部員募集中！

綾瀬市商工会青年部では、部員を募集しています。私たちと一緒に地域貢献、研修事業を通じて商工業の発展や社会勉強を行っていきませんか？

対象：20歳～40歳迄の方で、綾瀬市商工会加入の事業所の方

(詳しくは 商工会事務局 青年部担当：高橋まで)

10月～12月 活動予定

10月9日(日)	綾瀬市商工会創立50周年記念式典
10月19日(水)	研修事業「俺の会社を見てくれ～⑤」
10月23日(日)	あやせ商工フェア
11月	臨時総会
11月(予定)	先進地視察研修・慰労会
12月(予定)	研修事業「俺の会社を見てくれ～⑥」

編集後記

暑い季節も終わり、ようやく涼しい季節になりました。「スポーツの秋」と言いますが、今年こそはダイエットに成功するべく、筆者もスポーツに励んでいます。

しかし、「食欲の秋」とも言いますね。デブの私には悩ましい季節です。また、「読書の秋」「芸術の秋」と、あれもこれもと、忙しい季節です。青年部にとっても年末に向け、色々な行事で忙しい時期となります。

この「あぶろ～ち」だけではお伝えしきれない活動状況を「綾瀬市商工会青年部ブログ」にて、日々更新しています。是非、ご覧下さい。

■青年部ブログ（ホームページ）の見方

パソコンなら<http://u-40.seesaa.net/>もしくは、検索エンジンで「綾瀬市商工会青年部ブログ」と入れればOK。携帯からは同じくアドレスを入力するか、「あぶろ～ち」表題のQRコードを読み込んでアクセスして下さい。